

所管事務調査報告（総務経済常任委員会）

平成30年1月16日から17日の二日間、総務経済常任委員5名、事務局長の計6名で所管事務調査を実施致しましたので報告します。

■ 1日目 平成30年1月16日（火）

山梨県都留市 「リニア中央新幹線 山梨県立リニア見学センター」
神奈川県横須賀市 「停泊艦船等の湾内見学」

役場駐車場を午前7時半出発し中央道諏訪南ICより大月IC下車。一般道経由にて午前9時15分、都留市にある山梨県立リニア見学センター到着しました。既に超電導リニア走行の実験は行われており、時速500kmの豪快な走行音が聞こえてきました。

今回は2027開業、東京品川⇄名古屋間を40分、またリニア山梨県駅までも20分あまりで結ぶことが可能な公共交通の現状を学ぶ目的で見学に行きました。館内に入りスタッフより特別にリニア車両の説明を受けることができました。新型車両と車内はほぼ変わらない旧型の展示車両ですが、従来の新幹線より軽量化にするためボディや座席などコンパクトな設計になっているとのことでした。次に2Fに上がり車体が浮く仕組みや超電導のミニ実験装置を使い詳細説明を受けました。最後に3Fリニアシアターで映像ではありますが実際の500kmを体験しました。

JR東海の超電導リニア走行実験は、東は上野原市、西は笛吹市の間25kmで行われていて中間に位置する都留市の見学センターでは目の前を最高時速で走行する超電導リニアを見ることができ実際に走行する超電導リニアには迫力を感じました。

9年後開業の超電導リニア中央新幹線、富士見町から行く場合、山梨県駅（予定地：甲府南IC南側）まで40分（待ち時間入れれば約80～90分）そこから品川駅まで20分、トータル約120分の計算になる。現在、JR中央線富士見駅や小淵沢駅から、特急あずきでも120分、どちらも移動時間には変わらない。どちらを選ぶかは、あなた次第。しかし一度は乗車する価値はあるでしょう。

リニア実験センターを10時30分に出発、中央道大月ICより圏央道経由、東名高速海老名SAにて昼食。12時30分出発、東名横浜町田IC下車、保土ヶ谷バイパス、横浜横須賀道路横須賀葉山IC下車。珍しく渋滞もなく13時、横須賀港到着。停泊艦船等の湾内見学、こちらも普段あまり見ない潜水艦、イージス艦や大型の艦船等迫力満点でした。また街中の様子もアメリカ軍の方々がブルーの迷彩服で歩いていたり、日本を守っている一つの港町を感じました。

15時25分、久里浜港よりフェリーにて房総半島へ。16時5分、千葉県浜金谷港着。富津館山道路経由、館山市内着17時。

（文責：総務経済常任副委員長 矢島 尚）